

J-CAPTA&日本ユニセフ協会連携事業

キャップ

子どもたちにCAPを プレゼントしませんか

CAPワークショップの**無料**提供 **募集中**

実施期間 2015年4月～2016年3月 ●お問い合わせ・申し込みは下記CAPグループまで



CAPとは子ども自身があらゆる暴力から自分の心と体を守る教育プログラムです。子どもたちには自分の大切さと暴力から身を守る具体的な方法を教え、おとなの皆さんには子どもの持つ力を信じ、子どもの心の手当の方法をお伝えします。

CAPは35年余の歴史を持つプログラムです。地域や子どもたちの抱える不安を、勇気に換えていく点が高く評価されてきました。劇を交えてのわかりやすい内容です。

不安を勇気に転ずるCAPのちから～JCAP311Project-2015～

J-CAPTAはCAP活動を通じて子どもの生きる力を支える震災支援プロジェクトを実施しています。福島県全域と岩手県・宮城県の沿岸部のCAPワークショップは無料です。地域の保育園・幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、児童養護施設からのお申し込みをお待ちしています。

JCAP311Projectでお届けしたCAPワークショップは2011年4月から2014年12月末現在、ワークショップ数887回、参加者おとな9,809人、子ども9,320人になりました。

福島県CAPグループ連絡会

お問い合わせ・申し込みは下記のCAPグループまで・・・

こどもCAPふくしま	024-584-3126・070-5622-5809
CAPこおりやま	090-1379-3441
CAPいわき	0246-52-0511
あいづCAP	080-1842-0160

CAP (キャップ) とは、Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止) の頭文字をとったものです。子どもを対象にしたプログラム【子どもワークショップ】とおとなを対象にしたプログラム【おとなワークショップ】があります。

子どもワークショップ・・・子ども対象のプログラムです。クラス単位で実施します。年齢や障がいのニーズによってプログラムの内容や所要時間が違います。ロールプレイ (役割劇) を見たり参加したりなど、参加体験型の学習形態で自分の感じたことや考えたことを話し合いながら進めます。一人一人が尊重されて楽しく暴力防止の具体的な方法を学びます。

おとなワークショップ・・・保護者や教職員、地域の人などのおとなを対象にしたプログラムです。子どもと暴力についての正しい知識を知り、子どもの人権尊重とエンパワメントの支援のあり方について考えます。おとなワークショップは単独でも実施できますが、子どもワークショップを実施するには、事前に教職員ワークショップと保護者のワークショップが必要です。

CAPワークショップを受けて……

ぼくは、5年生の時ちょっといじめられていました。今、日本中でいじめによる自殺が続いています。同じ人間として悲しいと思いました。

ぼくは日本中の子どもにCAPが必要だと思います。なぜかというとならCAPはいじめや暴力のことについて正しく話してくれ、人権のことも話すので、いじめられている人は勇気が出るしいじめられている人も気づくと思うからです。

(小学生)

安心・自信・自由を誰にも奪われたいと思わない。自分らしさを大切にしたい。いやな事があつたら友だちに相談したいし、友だちの相談も一生懸命きいてあげたいです。暴力は絶対にしない、させられない。(中学生)

劇を実際やってみると、どうするといいかもっと知ることができました。みんなの力をかりることで、自信を持てるということもわかりました。楽しい時間をありがとう。

(小学生)

私が何気なく言っていた言葉が、子どもが話そうとするきっかけを失っていたことに気がきました。意識的に子どもの話をしっかりと聴くようになったら、子どもが自分から話してくれるようになりました。

(教師)

中学生の娘が学校から帰る途中男に肩をつかまれ声をかけられました。「やめてください」と言っても手を放してくれないので、大声で叫び逃げて帰ってきました。娘は相当ショックを受けたようです。「大きな声が出せて良かったね」とほめてやると、「小学校3年生の時に受けたCAPの事を思い出して声が出た」との事。当時私もCAPを受け子どもと一緒に練習していました。不審者情報があるたびにそのことを話してきたことが幸いしたようです。

(保護者)

J-CAPTA
Japan CAP Training & Action

<http://j-capta.org/>

CAPトレーニングセンター「J-CAPTA/ジェイキャプタ」は、子どもへの暴力のない社会、一人一人の子どもが大切にされる社会を目指して、地域のCAPグループと共に活動しています。